在広(ざいこう)島根県人会総会　　　　　　**H24.7.14(土)**

本日こうして、松井広島市長、城納副知事をお迎えして、在広島根県人会の総会が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

皆様には日頃から、島根に温かいご支援・ご協力を賜っておりますことに、感謝申し上げます。

また、先ほどは、大瀬戸千嶋(おおせどちしま)さんの楽しいライブを聞かせていただき、ありがとうございました。

今年は、古事記が編纂されて1300年。いよいよ来週21日から、出雲大社周辺を主会場として「神話博しまね」が開幕します。

来年は出雲大社も60年に一度の大遷宮であり、今は大屋根の修造も済み、きれいな檜皮葺きの大屋根がご覧になれます。

会場では、島根の魅力を体感していただけるよう色々な工夫をしております。

「神話映像館」では、高さ3m・幅15mの国内最大規模の巨大スクリーンに、3台のプロジェクターを使い、実写とコンピュータ・グラフィックスを融合して、「おろち退治」などの神話の世界を映像で見ていただきます。

「しまね魅力発信ステージ」では、県内各地の神楽などを上演します。

また、神話博開催にあわせて、県内各地で、「全国万葉フェスティバル」や「隠岐ジオパークフェスティバル」、「石見銀山世界遺産登録5周年記念行事」など、趣向を凝らした盛りだくさんの企画が展開されます。

広島県内では、路面電車やバスのラッピング・車内刷り広告や、テレビ・新聞での告知などにより、今後さらにＰＲに努めていきます。

また、「神々の国しまね」プロジェクトの公式メッセージソングとして、毎年のように島根を訪れていただいている音楽家の谷村新司さんに、いま流れております「はじまりの物語」という歌を制作していただきました。

谷村新司さんには、「神話博しまね」のオープン前日に、出雲市でライブを行っていただき、オープニングセレモニーにもご出席いただくこととなっております。

そのほか、県外では、荒神谷・加茂岩倉遺跡の銅剣、銅矛、銅鐸などを展示する「巡回展」を、今月28日から京都の国立博物館で、10月10日からは東京の国立博物館で開催します。出雲大社の境内で発見された巨大な宇豆柱(うづばしら)を、県外では初めて展示します。

さらに、10月から12月にかけては、島根・鳥取両県をテーマとしたJRの観光キャンペーン「山陰デスティネーションキャンペーン」が行われます。

お隣の鳥取県では、8月4日から「国際まんが博」が開催されます。島根の「神話博」とあわせて、皆様方をはじめ、多くの観光客の皆様にも山陰にお越しいただければと、期待をしております。

現在建設中の高速道路「尾道松江線」は、島根県東部から三次までが平成24年度中に、また全線は平成26年度中に開通する予定となっております。これにより、両県の交流・連携が益々深まることを期待しております。

終わりに、本日の会が楽しく、有意義なものとなることを願うとともに、皆様の益々のご健勝とご発展を祈念し、ご挨拶といたします。